

持続発展教育にユネスコ・スクールの活用を



箕浦克巳 議員

【議員】国連でわが国の「持続発展教育の10年」が採択され国内行動計画が策定された。見解は。

【教育長】将来に渡って持続可能な社会を構築するため、問題意識を持ち、考え、行動できる人材を育てる考え方は重要な教育と思われる。今後の取り組みが求められる。

【議員】ユネスコ・スクールの目的は。

【教育長】ユネスコの理想を実現し、平和や国際的な連携を学校での実践を通じて促進すること。

【議員】現在の加盟校は。

【教育長】本年8月時点で92校。世界規模では17カ国の約8千校が加盟している。中部地域では小学校2校、中学・高校が各1校の4校が加盟。

【議員】本町が加盟する見直しはあるか。

【教育長】理念はすばらしい。検討課題とする。

成人の健康診断の受診率向上を

【議員】医療費の増大が町の財政を圧迫している要因の一つ。疾病の予防、早期発見が大切で健康診断が重要だ。健康診断の種類や受診率の現状は。

【健康部長】健康課でがん健診など6検診、保健医療課で特定健診を実施している。受診率は低い状況にある。

【議員】住民検診が特定健診に変わったことが影響しているのでは。

【健康部長】特定健診は昨年からはまったもので検証されていない。

【議員】指摘された受診者に対する対策や検証は。

【健康部長】特定健診では程度に応じて動機付け支援や積極的支援など特定健康指導を行っている。生活習慣病の患者が減ったという検証は難しい。

【議員】検査項目の追加や見直しの要望があるが。

【健康部長】今後検討していきたい。

町公共交通の現状と今後の考え方について



近藤 鑑治 議員

【議員】平成20年4月に「じゅんかい君」の路線時刻を改正したが効果は。

【生活部長】19年度比で乗車数7.01%増、収益で5.8%増。65才以上の高齢者・小学生の通学利用等、無料利用者が増えたが良い結果が出ている。

【議員】今後の課題は。

【生活部長】住民意向調査では、巡回ルートの充実と拡大、他市町の施設などに乗り入れ、運行本数の増加等の回答率が高かった。今後は利用者の声も聞いていきたい。

名鉄バス「押草団地線」運行について

【議員】20年度の利用状況はどうか。

【生活部長】8万4763人の乗車数で前年比7%減、名鉄への年間赤字補填600万円と見込まれる。

【議員】名鉄バス「押草団地線」存続の結論は。

【生活部長】10月23日の地域公共交通会議で話し合い、12月中旬には結論を出したい。

【議員】町の公共交通を今後どう考えているか。

【町長】南北路線として豊明から長久手を結ぶコミュニティバスを基幹とする路線実施の方向で、中部運輸局、関係市町と検討を始めた。

町ホームページについて

【議員】45万3188件(20年度)アクセスがあるが、維持管理は。

【企画部長】総括は企画部人事秘書課広報広聴係であるが、各課の責任で一元管理している。

【議員】更新、新規掲載はどうしているか。

【企画部長】年度初めに更新するよう、新規掲載はそれぞれの担当の責任でおこなっている。

【議員】トップページの更新、改正の考えは。

【企画部長】平成23年3月でリース契約が満了する。それまでに研究する。